

# 2021年度 事業報告書

2021年4月 1日から

2022年3月31日まで

学校法人 カトリック聖マリア学園

## 1. 法人の概要

名 称 学校法人 カトリック聖マリア学園  
(昭和59年3月30日法人設立)

代表者 理事長 山内 十束

住 所 池田市満寿美町9番26号

電 話 072-751-4428

FAX 072-751-4514

設置する学校 住 所 池田市満寿美町9番26号  
名 称 カトリック聖マリア幼稚園

役 員 理 事 6名 監 事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催 評議員会 2回開催

職 員 25名

## 2. 事業の概要

( カトリック聖マリア幼稚園 )

### 《教育方針》

キリスト教の愛の精神を基に、きよく、あかるく、げんきな子の育成をめざします。

### 《教育内容》

登園後の自由時間には、発達に応じたコーナー遊びを自ら選び楽しめます。また、クラス活動の時間では、キリスト教の精神に基づく礼拝の時を持っています。

	3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	2	70	2	70	2	70	6	210
2020年度	2	69	2	54	2	66	6	189
2021年度	2	53	2	69	2	54	6	176
2022年度	2	56	2	58	2	68	6	182

### 《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時 (水曜日午前11時30分)  
土曜日 休園

### 《納付金》

保育料 年額228,000円 (12分割均等納付)  
給食費 月額3,800円

### 《入園時の費用》

入園料 25,000円  
施設費 25,000円 (3歳児は35,000円)  
検定費 1,500円

### 《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日 午後2時～午後5時

夏冬春休み中はなし

日払い 200円～600円（午前保育の場合は 上限1,000円）

#### 《行事実施状況》

保護者の集い、親子遠足、お花の奉獻、1日動物村、風船あげ、七夕小音楽会、お泊まり保育、運動会、まりあまつり、おみせごっこ、クリスマス会、おもちつき、休日参観

#### 《施設関係》

園地面積 1,467.1㎡ 運動場面積 674.5㎡

園舎延べ床面積 751.9㎡

#### 《設備関係》

ポータブルワイヤレスアンプ、RICOH コピー機、防犯カメラシステム一式、エアコン、縦型全自動洗濯機取得。コピー機、職員室エアコン廃棄。

#### 《事業報告》

2021年度も新型コロナウイルスの影響があったが、前年度に引き続き行事等の内容を変更しながら保護者の協力を得て役職員の真摯な努力により、着実に運営することができた。

昨年11月から年明けまでは第5波が収まり、社会・経済活動の再開で進展するかと思われたが、1年半ばより感染力の強いオミクロン株の第6波が全世界に拡大し、わが国においても驚くような感染状況が続き、新年度に突入した。

更に、冬季オリンピック閉会の日、ロシア軍によるウクライナ侵攻の戦争が勃発し、世界は、新型コロナウイルス以上の課題を抱え、暗黒の状況に陥らされることとなり、世界中が、一刻も早く侵略戦争が終わることを固唾を呑んで願っているが、戦争と新型コロナウイルスの影響は当分続くものと思われ、景気の一層の落込み、原油価格の高騰、相次ぐ生活用品の値上げ等により、保護者世帯の家計も厳しい状況となる考えられる。

また、2021年の出生数は、84万2,897千人となり急激な少子化が進行しており、婚姻数が前年度より12%以上減少していることから、2022年以降は、一層少子化が進み80万人を割り込むことが予想される。

採用状況についても、依然として厳しい状況が続いており、幼稚園教諭・保育士の養成校も生き残りをかけ学生確保に取り組んでいるが、大阪府内の殆どの養成校は、定員を確保出来ていない状況になっている。更に、受験生の多くは4年制大学指向が強くなり、幼稚園教諭の免許及び保育士資格を取得した場合でも、企業の採用意欲が強くなり、すんなりと認定こども園・幼稚園に応募することも極端に少なくなっている。

そのような状況から、当園としては、安定した事業継続を図るため、地域の少子化進行状況及び養成校はもとより、人材派遣会社等から教職員採用状況を調査・検討し、実態をしっかりと見定め、慎重に対応していくこととする。

2015年4月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、移行が進み、2022年度は、6割近い園が新制度に移行し、171園が私学助成で園を運営している。

当園は、私学助成を継続して園を運営している。

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学校関

係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙を別紙のとおり纏め公表に努めた。

財務状況については、事業活動収支計算書での教育活動収入計が118,227千円（前年度121,058千円）、教育活動支出計が111,662千円（前年度110,906千円）となり、教育活動収支差額6,564千円（前年度10,152千円）、経常収支差額比率5.5%（前年度8.3%）となった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、61.54%（前年度57.83%）となった。

資金繰りについては、翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

### 3. 財務状況

別紙参照